

●レイアウトの実践

①台紙データを開く

必ず当社規定の台紙データを使用してください。

アルバムサイズ（※表1参照）に合った台紙データを選んで開いてください。

当社のレイアウトサンプルデータも、ご用意していますのでご利用ください。

②画像ボックスを作成

長方形フレームツールで画像ボックスを作成します。

変形パレット（※図1）で位置（X軸が横方向、Y軸が縦方向）とサイズ（Wが幅、Hが高さ）を整数で入力し、調整します。

③画像を配置

1. 配置したい画像ボックスを**選択ツール**で選択し、あらかじめ用意しておいた画像（EPS・JPGデータ）を**配置（ファイル→配置）**します。

※拡大率は**140%**を超えると画像が劣化します。**縮小率が50%未満の場合は、必ずPhotoshopでリサイズ**して下さい。

（リサイズの方法は別紙「リンク画像の処理」参照）

Adobe Bridgeから画像を**ドラッグ&ドロップ**（※図2参照）で配置する方法もあります。

2. 画像ボックスを**ダイレクト選択ツール**で選択して、画像をトリミングします。

画像の拡大・縮小・角度は**変形パレット**（※図1）で数値入力するか、**バウンディングボックス**（※図3）で画像の拡大・縮小・角度の調整を行って下さい。

バウンディングボックス（※図3参照）を使用する場合は**必ずshiftキー**を押して拡大・縮小等を行って下さい。

④タイトル・バックを作成、配置

1. タイトルやカット等の文字は配置する前に、作成したアプリケーションで**必ず文字をアウトライン化**して下さい。（詳しくはIllustratorのアルバム作成マニュアル参照）

※リンク画像のあるタイトルは必ず、**リンク画像も一緒にフォルダに保存**して下さい。

2. 当社のデジタルアルバムパターン集以外のグラデーションバックはInDesignで作成（下記参照）して下さい。

表1 ダイビ標準サイズ一例（見開き2頁分・単位/mm）

	ドキュメントサイズ
八切 / 縦	370 × 255
六切 / 縦	444 × 300
四切 / 縦	500 × 360

・他サイズの台紙データもございますので、担当営業までお問い合わせください。

ダイレクト選択ツール

選択ツール

長方形フレームツール

横組文字ツール

オトシ処理をする場合

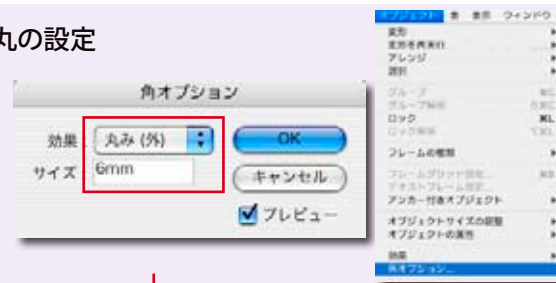
必ず仕上がりサイズより天地左右、3mm外に出して下さい。断裁時に余白がでるのを防ぐためです。斜線部分は裁ち落とされるので、**顔が仕上がりサイズの内側**になるようにトリミングして下さい。

オトシ処理をしない場合（内枠処理）

天地左右必ず4mm以上、内に入れて下さい。（タイトル、文字、カット等含）断裁時に多少のずれが生じる事があり、写真や文字等の断裁を防ぐためです。

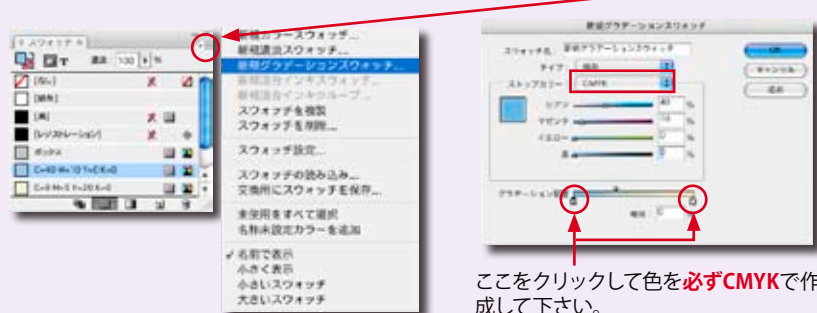
●画像ボックス四方角丸の設定

オブジェクト→角の効果を選択し角丸のサイズを入力します。



●グラデーションの作り方

ウィンドウ→スウォッチを選択して、オプション表示ボタンをクリックし、新規グラデーションスウォッチを選択します。



ここをクリックして色を必ずCMYKで作成して下さい。

●文字の打ち方

長方形フレームツールでボックスを作成します。ボックスの左肩を**横組文字ツール**でクリックすると、文字ボックスに変換されますので、フォントの種類と段落を設定して文字を打ち込んで下さい。個人ネームやクラブ等の文字を打ち込む場合は、画像ボックスと同じ幅の文字ボックスを作成して下さい。

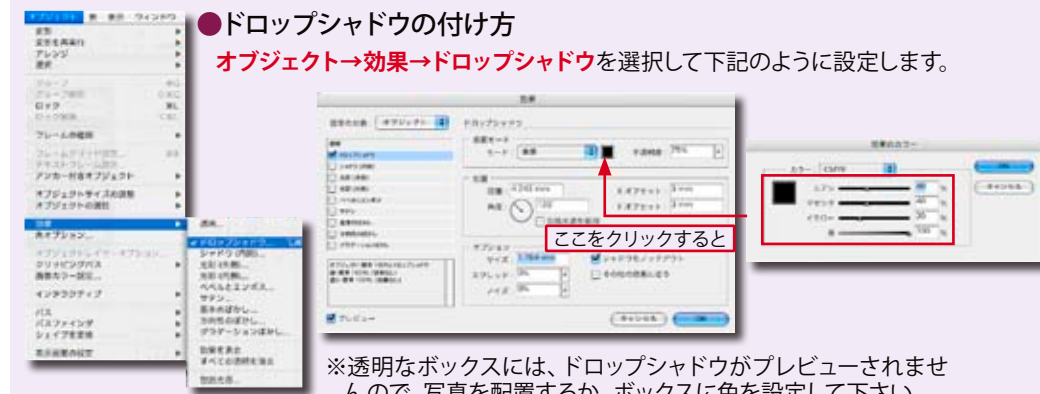
※フチ文字の作り方は裏面参照

入稿する際は必ず文字をグラフィックス化して下さい。

（※詳しくは裏面の「文字のグラフィックス化」参照）

●ドロップシャドウの付け方

オブジェクト→効果→ドロップシャドウを選択して下記のように設定します。



※透明なボックスには、ドロップシャドウがプレビューされませんので、写真を配置するか、ボックスに色を設定して下さい。

●カラーの作り方

ウィンドウ→スウォッチを選択して、オプション表示ボタンをクリックして新規カラースウォッチを選択して下さい。
塗りを設定時にクリック



カラー形式はプロセス、カラーモードはCMYKに必ず設定して下さい。

カラー形式を特色、カラーモードをRGBに設定すると、印刷出来ませんので注意して下さい。

※バックを黒ベタにする場合はK100%の設定ではなく、**C40%M40%Y30%K100%のカラー設定**にして下さい。

●文字のグラフィックス化

選択ツールで文字ボックスを選択して、書式→グラフィックス化を選択して下さい。

※文字ボックスにカラーを指定すると、グラフィックス化した時に、カラー設定がなしになりますので、その際は文字ボックスの背面に画像ボックスを作成して、画像ボックスにカラー設定して下さい。

修学旅行

文字ボックスにカラー設定して文字のグラフィックス化をすると・・・

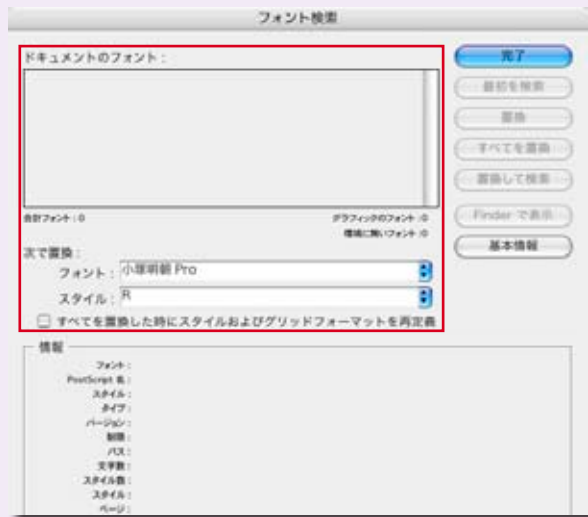
修学旅行

上記のようにカラー設定がなくなります。

書式→フォント検索...を選択し、ドキュメントのフォントの確認をします。下記の図4のように何も表示されていないければ全ての文字がグラフィックス化されています。グラフィックス化されていない場合は、フォントの一覧が表示されます。入稿する前は必ず確認して下さい。



図4



●フチ文字の作り方

みんなが一つになった時

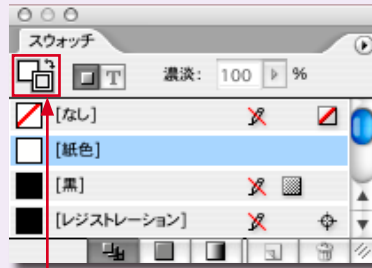
みんなが一つになった時
白い文字を背面へ送ると・・・

みんなが一つになった時

線幅の数値は標準見本です

選択ツールで文字ボックスを選択して、書式→グラフィックス化を選択して下さい。グラフィックス化した文字を編集→コピー、編集→元の位置にペーストし、その文字に線と塗りを設定し線幅を入力して下さい。
必ず丸形線端、ラウンド結合、線の位置は線を中央に揃えるにチェックを入れて下さい。

最後にその文字をオブジェクト→アレンジで背面に配置して下さい。



線色と塗りを設定

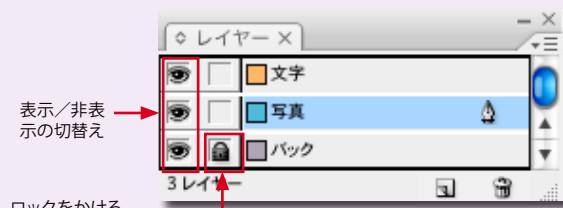


線を中央に揃える

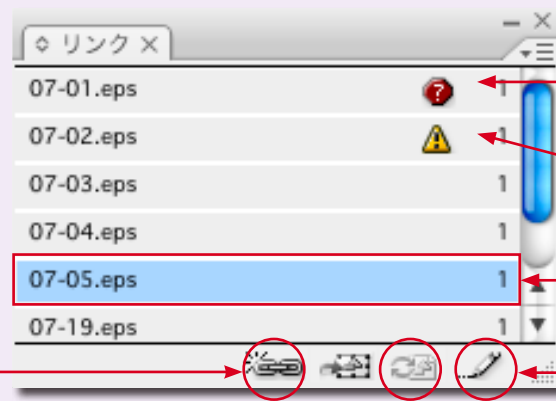
ラウンド結合

●レイヤーの機能・操作

レイヤーとは、1つのアートワークの中で、オブジェクトの重なりを整理して作業出来るようにした階層の事を言います。
レイヤーを使うとレイヤーごとに表示／非表示の切替えが出来たり、編集出来ないようにロックをかけることが出来ます。



●リンクファイルの確認



リンクされたファイルが見つかりませんのマークが表示されたら、そのファイルを選択して必ず再リンクボタンをクリックして更新して下さい。

リンクされたファイルは更新されましたのマークが表示されたら、そのファイルを選択して必ずリンクの更新ボタンをクリックして更新して下さい。

編集したい画像を、リンクパレットもしくは画像ボックスを選択して元データを編集ボタンをクリックすると元データの編集が出来ます。

再リンクボタン 差し替えたい画像を選択してクリックすると再リンク出来ます。

リンクの更新ボタン
リンク更新したい画像を選択してクリックします。

●リンク画像の保存形式

バージョン \ 保存形式	.eps	.jpg	.tiff	.psd	.bmp	.gif
InDesign CS3 拡張子.indd	○ 8bit/pixel jpg-高画質	○ 画質9高/ベースライン標準	×	△	×	×

※画像解像度と保存設定は別紙「リンク画像の処理」参照

●入稿前のチェック事項

- 各数値は全て整数で入力されているか。
- 画像ボックスの色や余白が見えていないか。
- セパレート (画像ボックスと画像ボックスの空き) は統一されているか。
- オトシ処理の画像ボックスが仕上がりサイズより3mm外側に出ているか。またそのオトシ部分に顔が入っていないか。
- 内枠処理の画像ボックス及びタイトル、カットが仕上がり線より最低 4mm 以上は内側に入っているか。
- センターラインに顔や文字がかかっているか。
- 使用カラーが全て CMYK になっているか。
- リンクのダイアログボックスでファイルのリンクがはずれていないか、リンクファイルが更新されているか。(上記の「リンクファイルの確認」参照)
- 文字が全てグラフィックス化されているか。(左記の※図4参照)
- フレームの線幅が 0.3pt 以上に設定されているか。
- リンク画像の保存形式と画像解像度が適切に設定されているか。(上記の「リンク画像の保存形式」参照)
- ドキュメントサイズの外に余分な画像や文字等が残っていないか。